

第1回北区地域公共交通会議 議事要旨

◇ 日時

令和元年12月11日（水）午前10時から

◇ 場所

北区第一庁舎 4階 第二委員会室

◇ 会議次第

1. 開 会
2. 委員委嘱（委嘱状交付）
3. 委員紹介
4. 会長の互選
5. 会議の運営について
6. 議 題
 北区地域公共交通計画策定について
7. 閉 会

◇ 出席委員

21名（敬称略・順不同）

会長 久保田 尚

委員 大前 孝太郎（代理：杉山 徳卓）、尾花 秀雄、島崎 健一、小平 隆宏、
佐藤 智彦、宇田 誠二、小池 毅、佐藤 尚宣、
堀越 千秋（代理：石川 龍太）、五味 康真（代理：根反 智孝）、
鈴木 義治、稲垣 茂孝、石田 眞悟、村山 勉、山下 清二、熊坂 成夫、
中嶋 稔、関根 和孝、横尾 政弘、佐藤 信夫

事務局 土木政策課

◇ 議事内容

1. 開会

- 事務局より開会宣言

2. 委員委嘱（委嘱状交付）

- 机上配付にて委員委嘱

3. 委員紹介

- 当検討会は 25 名の委員によって構成することの確認
- 委員の名前は委員名簿の配付により確認

4. 会長の互選

- 設置要綱第 5 条に従い互選によって会長を選出
- 尾花委員からの推薦により、久保田委員を会長とすることを承認
- 会長からの挨拶

5. 会議の運営について

- 事務局より検討会設置要綱の説明

6. 議 題 北区地域公共交通計画策定について

- 事務局より配布資料にもとづき説明を行った後、質疑応答
- 質疑応答の内容は以下に示す通り

（会長）

3 ページに背景、4 ページに目的、5 ページにイメージ、6、7 ページに参考、そして 8 ページに検討していきたいイメージが示されている。事務局からの説明に対して、ご意見などあればお願いしたい。

（委員）

新しい考え方としてシェアリングなどの方法が世間に出てきている。本検討のテーマはコミュニティバスと理解しているが、そのあたりの視点も検討いただきたい。

（会長）

新しい取り組みが国内外において進んでいる。今回の検討に入るのか。

（事務局）

シェアリングサイクル、レンタサイクルはいくつか民間の事業者において展開している。自転車はコミュニティバスから乗り継ぐという点で関連する交通手段であり、モビリティの中の一つとして捉えながら、コミュニティバスについて検討していきたい。

(委員)

資料にデマンド交通が示されているが、シェアリングやウーバーなどの方法もある。タクシー業界も多様な取り組みを進めており、利便性の向上に繋がるため、そのあたりの動きも踏まえて検討していただきたい。

(会長)

シェアサイクルや MaaS なども含めたトータルサービスという動きである。10 数年後も見すえ、これらを勉強しながら進めていければと思う。

(委員)

K バスの収支の状況が分かるものがあれば教えていただきたい。

(事務局)

収支は 26 年度についてはマイナス約 115 万円、27 年度はマイナス約 345 万円、28 年度はマイナス約 82 万円強です。29 年度はマイナス約 2,632 万円、30 年度はマイナス約 1,913 万円となっている。

(委員)

コミュニティバスの見直しを図るということで検討していくが、K バスの収支状況も含む検討と考えれば、運賃の見直しなども考えられる。今回の見直しは、メインとして路線変更や路線導入なのか、あるいは収支の改善なのか、どちらをメインとしているのか教えていただきたい。

(事務局)

全体の見直しであるが、現在の K バスを踏まえた運賃見直しは必要だが、新たな展開を踏まえた見直しをしてからの順番で考えていきたい。先ほどの説明では、毎年の収支のバラつきについては、車両の修繕が影響しているところがある。

(委員)

導入から 10 年経過し、10 年で 1 年あたり平均としてマイナス 1,030 万円となっている。事業者は日立自動車に委託運行しているが、車両原価の方法などもあるため、年度でのばらつきが生じている。

(会長)

収支率はどうなっているか教えていただきたい。

(委員)

区民へのアンケートを行うと、100 円だから乗るという方が多いため、運賃の値上げができないという状況もある。

(会長)

収支率、つまり運行経費に対して運賃がどれくらいカバーされているかという数字があればお教えいただきたい。

(委員)

予算として 3,000 万円強計上しているため、収支率は 7 割強となっている。

(会長)

収支率は高いという印象である。

(委員)

33 ページにおいて公共交通の運行状況を図で示している。都電と路線バスは 200m 圏域で示されているが、300m 圏域など見ると候補地や優先度の参考となると思う。

(事務局)

300m 圏域についても図を準備したい。その上で候補地など指標を検討していければと思う。収支は平成 20 年度から 30 年度の間に概ね 8 割となっている。近年だと 7 割くらいだが、そのあたりも次回において説明したいと思う。

(委員)

収支の関係で話があったが、1,000 万円の赤字ということであるが、収支の改善として人件費の話となれば、現状でもドライバー不足が深刻であり、バス会社でも乗務員の確保が厳しい状況になる。あまりコスト論に目線が向くと、そういった問題も出てくる。1,000 万の赤字とのことであるが、コミュニティバスとして 1 日 1,500 人もの利用があり、1 人当たりのコストで考えれば有効性もある。コミュニティバスということは地域貢献することもあり、1,000 万円の赤字が運営に影響するのかということもある。

(会長)

赤字だからだめというつもりはない。どういうところに導入するかということで一つの指標になるための数字であり、そのあたりも考えていければと思う。

(委員)

コミュニティバスはインフラに近いものと考えている。どれだけ地域の方にとって有効な交通手段かということが重要である。改善のための見直しなのか、今の金額を維持したまま地域に使ってもらうための検討なのか、そのあたりの議論がポイントと考えている。乗務員の方の状況も承知しており、そこを抑えて黒字化という意見ではなかった点、改めて説明させていただいた。

(会長)

48 ページ以降の議論の視点について、ご質問、ご意見あればお願いしたい。

(委員)

運賃について、現状の 100 円で分かりやすいが、今後キャッシュレス化が進むと 100 円という単位にこだわる必要がないという視点を考慮してもよいのではないかなと思う。

(会長)

10 年後にはみんながスマホの世界にもなるかもしれない。新しい視点のご意見をいただいた。つづいて、52 ページ以降の進め方も含めてご質問、ご意見あればお願いしたい。

(委員)

今後の進め方についてアンケートを検討されているとのことであるが、アンケート以外に地域の声を聴く機会はあるのか。

(事務局)

アンケートはしっかり行っていくが、アンケート以外での直接の意見を伺いたい。現状でも自治会等から要望などいただいている。直接意見を聞く機会としては今後検討させていただければと思う。

(会長)

53 ページに次回以降の予定が示されている。候補地の選定について、次回に指標の検討というのが出され、3 回目にルールに沿って選定するということであるが、指標というのはどのようなものをイメージしているのか教えていただきたい。

(事務局)

48～50 ページに視点としてお示ししているが、この部分を出来る限り定量化することと、なおかつ定量化できないところは区民の意見やヒアリングで把握していきたいと考えている。

(会長)

指標という視点だけでなく、優先地域を決めるルールを決めていくという理解で良いか。

(事務局)

その通りである。次回において、その物差しを決めきるということは難しいかもしれないが、案を提示してご議論いただき、年度をまたいで第 3 回において固めていきたいと考えている。

(会長)

この部分が一番大事なところである。次回でルールの案をお示して頂いて、第 3 回でルールを決めるということで理解した。

(委員)

30 ページのネットワークの鉄道の圏域ですが、板橋駅があると思うが、網羅されているのか教えていただきたい。

(事務局)

表記が抜けていた。次回お示しさせていただければと思う。

(委員)

今回の地域公共交通の検討については区全体なのか、優先順位で対応しようとしているのかが分からない。地域別に分けてコミュニティバスを走らせるのか、あるいは北区全体を走らせる考えなのか教えていただきたい。

(事務局)

まずは全体を考え、現在運行している路線も踏まえて候補地を考えたい。区全体をくまなく走らせるということは難しいため、いくつかの候補地域を設定していきたい。その中で優先順位を定め、次の展開を今後お示ししていきたい。

すでに民間バス、都電などで路線も網羅されており、どこまでコミュニティバスが必要かどうかというところも含めて議論させていただきたい。

（委員）

王子駅周辺の話であるが、北区役所移転や跡地、予定地、計画の話は進んでいるのか教えていただきたい。

（事務局）

区役所移転は時間軸として 15 年先という提示をさせていただいており、今回のコミュニティバス見直し検討のスケジュール感とはあわない。その先という時間軸となる。

（会長）

委員のご指摘については、今後、区民の皆さんからもいただく内容かと思う。そのあたりのルールづくりが重要になる。そのあたり、今後示していただければと思う。また、国内外の状況なども勉強して、10 年先の北区の公共交通のあり方も見据えていくことも必要である。

基本的にはコミュニティバスを議論するというのが中心であり、次回、ルールづくりの議論をして、その先にルールを決定していく流れで進めていきたいと思う。他市、他区の事例なども参考にしながら進めていければと思う。

7. 閉会

- 事務局より、会終了後意見等があれば 1 週間を目処に事務局に連絡いただくようお願いの旨連絡
- 会長より閉会の挨拶
- 事務局より、第 2 回交通会議は 3 月下旬を目処に開催予定である旨連絡